

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	36 徳島県
市区町村名	36302上勝町
自治体区分	

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先	
36302上勝町	③学校と家庭の課題	01 家庭等における学習習慣の定着	本町は、小・中各1校づつで、児童生徒数は、70名程度である。学校の授業での各児童・生徒の理解度の向上の為に家庭学習の充実が必要であるが、校区内には学習塾等の民間教育機関がない。また、町外にある学習塾についても、公共交通の便数が少ない等の理由から、児童・生徒が保護者の送迎なしで通うことが困難な状況である。町外への学習塾について、児童では、1割未満、生徒では、2割程度の生徒が通っている状況である。そこで、児童・生徒が、学校の授業だけでなく、集団で補充学習をすることによって授業の理解度を高めたい。また、現在では、授業の復習、宿題の実施が主な取組みとなっているが、授業の予習や、中学校で受験対策などの内容についても学んでほしいという保護者からの意見もある。	中学校生徒を対象に平成27年度、小学校児童を対象に平成28年度から当事業の学習塾を行っている。当初は、参加者割合も少ない時もあったが、現在生徒では、5割程度、児童では9割程度が参加している。主な取組み内容としては、児童では、宿題を中心とした学習指導、個々の児童に応じた学習指導、国語、算数の課題プリント等の実施を行っている。また、生徒では、国語・数学・英語を中心に授業の復習、宿題の確実な実施、社会・理科等の教育映像の視聴を行っているが、各学校とも学習習慣の定着化、挨拶等礼儀作法、社会生活のルール等にも力をいれている。	いままでどおり、児童・生徒共に、個々に応じた学習指導、授業復習、宿題の確実な実施等の学習支援を通して、学習習慣の定着化、挨拶等の礼儀作法、社会のルール等を学んでもらえる環境づくりに努める。また、令和6年度からは、児童には、新たに「授業の予習、音楽、文化的な学習への取組み」を行えないか検討していく。また生徒にも「授業の予習、受験対策等」の一歩進んだ学習を行い、学習意欲の向上、成績の向上を目指す。	・児童(初期アウトカム:学習意欲を高め学校でできた宿題を着実に提出できる児童を増やす。)(中期アウトカム:学ぶ楽しさを感じるようになり、自分から学習内容を提出できる児童を増やす。) ・生徒(初期アウトカム:学習意欲を高め学校でできた宿題を着実に提出できる児童を増やす。)(中期アウトカム:学ぶ楽しさを感じるようになり、自分から学習内容を提出できる児童を増やし、将来や高校受験について自分ごとで考え、望む進学先、就職先のためのようにすべきか考えられる生徒を増やす。)	学習会に参加する児童生徒の割合	72	%	80	77	02.本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる	学習塾に参加する児童の割合が大きく上がり、放課後に学習をすることの定着が図られた。そのため、学校授業でできた課題を着実に提出できる児童が増えた。中学校の生徒の参加割合が、小学校に比べると低いが、テスト前の学習方法が身につく、学力も向上している傾向が見られる。課題として、ほとんどの児童生徒がスクールバスで登校しているため、冬場の時間確保、長期休暇の開催が難しい。	kamikatsu.jp/soshiki/shisho/kyoukuiinnkai/

\*行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。